

# 平成 29 年度事業報告書

## I. 事業の概要

本財団の設立目的に添って平成 29 年度も、細胞科学分野における研究助成 10 件、国内若手研究者の育成助成として海外への留学 2 件、国際交流助成として国際学会等への研究者招聘および海外派遣 3 件を実施した。

平成 30 年度の各種助成のために、それぞれの募集細目を検討・決定し募集を行った結果、研究助成 56 件、育成助成 7 件、国際交流助成 12 件の応募があった。これらについて、選考委員会による厳正なる審査を行い、平成 30 年度助成対象者を選出した。

過去に当財団の研究助成を受けた者が対象となる塩野賞についても厳正なる選考を行い、第二回塩野賞受賞者を決定し贈呈式と記念講演会を実施した。

また、平成 27 年度各種助成金贈呈者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめ、助成研究報告集を発刊した。

## II. 事業の内容

### 1. 平成 29 年度助成金の交付

平成 29 年度各種助成については、研究助成 10 件、育成助成 2 件および国際交流助成 3 件が平成 29 年 3 月 10 日開催の平成 28 年度第 3 回理事会において議決承認された。研究助成 10 件（1 件 300 万円、総額 3,000 万円）、育成助成 2 件（1 件 120 万円、総額 240 万円）および国際交流助成 3 件（1 件 50 万円、総額 150 万円）のそれぞれに助成金を交付した。

〔資料 1〕

### 2. 平成 29 年度研究助成金贈呈式開催

平成 29 年度研究助成受領者を対象に研究助成金贈呈式を次のとおり開催した。

開催日時：平成 29 年 6 月 17 日（土）午前 11 時 30 分より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町 19-19）

### 3. 第二回塩野賞受賞者選考および贈呈式開催

#### （1）塩野賞受賞者選考

平成29年3月17日付で理事および評議員に対象となる当該研究者のリストを提供し候補者の推薦を依頼したところ、13名の推薦があった。これらの中から最終候補者を選出するため、5月24日 東京ステーションホテル（東京都千代田区丸の内1-9-1）において塩野賞選考委員会を開催し、筑波大学教授 櫻井 武 博士を第二回塩野賞受賞候補者として選出、平成29年6月17日開催の第2回理事会で決定した。

〔資料2〕

## （2）塩野賞贈呈式および記念講演会開催

平成30年3月3日午後3時より第一ホテル東京（東京都港区新橋1-2-6）において第二回塩野賞贈呈式を財団設立30周年記念式典と合わせて開催し、受賞者 筑波大学教授 櫻井 武 博士に対し、塩野賞（賞状、金メダル、副賞1,000万円）を贈呈した。また、櫻井 武 博士による受賞記念講演会を同会場で開催した。

演題：覚醒と行動の制御におけるオレキシンの生理機能

## 4. 平成30年度助成事業

### （1）各種助成の募集の細目

平成29年4月18日開催の企画委員会での検討を経て、平成29年5月19日の第1回理事会（書面決議）で以下のように決定した。

#### 研究助成

募集テーマ：①脳血管－機能とその異常  
②肥満症－基礎と臨床

応募受付期間：平成29年9月1日から平成29年9月29日まで

専門委員： テーマ① 小野寺 理（新潟大学脳研究所 神経内科学分野 教授）  
齊藤 延人（東京大学医学部附属病院 脳神経外科 教授）  
小室 一成（東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授）  
テーマ② 春日 雅人（国立国際医療研究センター 前理事長）  
酒井 寿郎（東京大学先端科学技術研究センター 代謝医学分野 教授，  
東北大学大学院医学系研究科 分子生理学 教授）  
清水 孝雄（国立国際医療研究センター プロジェクト長  
東京大学名誉教授，東京大学特任教授）

※所属・役職は就任時

### 育成助成および国際交流助成

応募受付期間：平成 29 年 9 月 1 日から平成 29 年 10 月 31 日まで

なお、育成助成については、給付金額 1 件 120 万円を 240 万円に、採択件数を 6 件程度から 4 件程度に変更した。

[資料 3]

## (2) 募集

### 研究助成

全国の国公立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関および大学附設の研究施設 160 余を対象に募集要項を郵送するほか財団ホームページに公開した結果、応募数は計 56 件（テーマ①：21 件、テーマ②：35 件）であった。

### 育成助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は 7 件（国内 1 件、海外 6 件）であった。

### 国際交流助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は 12 件（招聘）であった。

## (3) 選考

### 研究助成：三段階方式による選考

1. 平成 29 年 10 月 17 日～11 月 16 日：テーマ別の選考委員および専門委員による第一次予備審査（書面）により第二次予備審査対象として 24 件（テーマ①：9 件、テーマ②：15 件）に絞られた。
2. 平成 29 年 11 月 24 日～平成 30 年 1 月 10 日：選考委員および専門委員による第二次予備審査（書面）が行われた。
3. 平成 30 年 1 月 30 日：本審査（以下の通り）

### 育成助成および国際交流助成

1. 平成 29 年 11 月 24 日～平成 30 年 1 月 10 日：選考委員による予備審査（書面）により採点。
2. 平成 30 年 1 月 30 日：本審査（以下の通り）

平成 30 年 1 月 30 日：本審査

開催日時：平成 30 年 1 月 30 日（火）午後 6 時より

場 所：東京ステーションホテル（東京都千代田区丸の内 1-9-1）

選考委員および専門委員により平成 30 年度各種助成交付対象者（研究助成 10 件、1 件 300 万円総額 3,000 万円、育成助成 4 件、1 件 240 万円総額 960 万円および国際交流助成 4 件、1 件 50 万円総額 200 万円）が選出され、理事長に答申された。平成 30 年 3 月 3 日に開催された第 3 回理事会において、原案通り議決承認された。

〔資料 4〕

## 5. 助成研究報告集等

平成 27 年度各種助成金受領者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめた細胞科学研究財団助成研究報告集第 28 巻（2017）、および財団年報第 29 号（平成 28 年度）を一冊にまとめて「助成研究報告集・年報第 2 巻（平成 29 年）として平成 29 年 10 月 1 日に発刊し、全国の国公私立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関、大学附設の研究施設および国会図書館等に送付した。

## Ⅲ. 財団運営の概況

### 1. 第 1 回理事会（理事会の決議の省略による方法）

理事長は、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、平成 29 年 5 月 19 日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、また監事全員から異議がない旨の承諾を得て当該事項が承認可決された。

第 1 号議題 平成 28 年度事業報告および平成 28 年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。

第 2 号議題 平成 30 年度各種助成募集に関する件：原案通り承認可決された。

第 3 号議題 平成 29 年度定時評議員会開催日、場所、目的である事項の件：原案通り承認可決された。

第 4 号議題 塩野賞規程改定の件：原案通り承認可決された。

### 2. 定時評議員会

開催日時：平成 29 年 6 月 17 日（土）午前 11 時より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町 19-19）

- 第1号議題 議長選任の件：互選により名取俊二氏が評議員会議長に選任された。
- 第2号議題 議事録署名人選任の件：議長のほか互選により大谷光昭氏および澤田拓子氏が選任された。
- 第3号議題 平成28年度事業報告および平成28年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。
- 報告事項1 平成30年度各種助成募集について：平成29年度第1回理事会で承認されたことを報告した。
- 報告事項2 塩野賞受賞者について：第2回塩野賞選考委員会において、筑波大学 櫻井 武 教授が第2回塩野賞受賞候補者として選出され、第2回理事会において決議されることを報告した。
- 報告事項3 マイナンバー対応業務委託先変更について：昨年、マイナンバー対応業務を委託した富士通BPOから辻・本郷税理士法人に変更することを報告した。

### 3. 第2回理事会

開催日時：平成29年6月17日（土）午後2時より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町19-19）

- 第1号議題 定期提出書類の件：原案通り承認可決された。
- 第2号議題 塩野賞受賞者決定の件：原案通り承認可決された。
- 報告事項 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は平成29年3月10日以降の業務執行状況報告を行った。

### 4. 第3回理事会

開催日時：平成30年3月3日（土）午後2時より

場 所：第一ホテル東京（東京都港区新橋1-2-6）

- 第1号議題 平成30年度事業計画の件：原案通り承認可決された。
- 第2号議題 平成30年度収支予算の件：原案通り承認可決された。
- 第3号議題 平成30年度助成交付者の件：原案通り承認可決された。
- 第4号議題 選考委員任期満了に伴う改選の件：原案通り承認可決された。
- 報告事項 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は平成29年度第2回理事会以降本日までの業務執行状況報告を行った。

## 5. その他

平成 29 年 6 月 26 日 内閣府に平成 28 年度事業報告書等の定期提出書類を Web 提出した。

平成 30 年 3 月 27 日 内閣府に平成 30 年度事業計画および予算の定期提出書類を Web 提出した。

## IV. 添付資料

〔資料 1〕平成 29 年度各種助成金受領者名簿

〔資料 2〕塩野賞選考員会報告ならびに受賞者決定について

〔資料 3〕平成 30 年度各種助成募集要項

〔資料 4〕平成 30 年度各種助成金受領者名簿

以上

平成 29 年度 研究助成金受領者  
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 300 万円 10 件, 計 3,000 万円)

テーマ 1 : ゲノム編集 : 基礎と応用

研究者	所属機関・職名	研究題目
Woltjen Knut ウオルツェン クヌート	京都大学 iPS 細胞研究所・未来生命科学開拓部門・特定准教授	CRISPR-Cas9 技術を活用した自然発生的マイクロホモロジー媒介遺伝子欠損疾患の iPS 細胞モデルの構築
片岡 圭亮 カタカ ケイスケ	京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学・特定助教	CRISPR ライブラリによる saturation mutagenesis を用いた 3' -非翻訳領域の機能の解明
合山 進 ゴウヤマ ススム	東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 細胞療法分野・准教授	CRISPR library を用いたヒト造血及び前白血病幹細胞における自己複製機構の解明
宮成 悠介 ミヤナリ ユウスケ	自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター 核内ゲノム動態研究部門・特任准教授	クロマチン高次構造を制御する因子のゲノムワイド KO スクリーニング
山本 雅裕 ヤマモト マサヒロ	大阪大学微生物病研究所 感染病態分野・教授	CRISPR ゲノム編集技術を駆使した宿主-病原体間の免疫学的相互作用の解明

テーマ 2 : 再生医療

研究者	所属機関・職名	研究題目
柴 祐司 シハ ユウジ	信州大学バイオメディカル研究所/医学部附属病院循環器内科・准教授	霊長類同種 iPS 細胞移植モデルを用いた心筋再生治療法の確立
滝澤 仁 タキサワ ヒロシ	国立大学法人熊本大学 国際先端医学研究機構・特別招聘准教授	造血幹細胞増幅を可能にする人工骨髄ニッチデバイスの開発
豊島 文子 トヨシマ フミコ	京都大学ウイルス研究所 構造形成学部門・教授	皮膚幹細胞・前駆細胞の賦活化による皮膚再生技術の開発
眞木 崇州 マキ タカヒ	京都大学大学院医学研究科 臨床神経学・助教	脳梗塞に対するオリゴデンドロサイト前駆細胞を用いた細胞治療
三好 悟一 ミシゴイ	東京女子医科大学 生理学教室・助教	GABA 仮説に基づく自閉症スペクトラム障害モデル系への細胞移植治療法の開発

平成 29 年度 育成助成金受領者  
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 120 万円 2 件, 240 万円)

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
福井 一 フカイ ハジメ	国立研究開発法人 国立 循環器病研究センター研 究所 細胞生物学部・上級 研究員	一次繊毛による流れ感知機構を介した心臓形 成制御機構 Institute of Genetics and Molecular and Cellular Biology (IGBMC) (フランス遺伝学分子細胞生物学研究所)
藤田 俊之 フジタ トシユキ	東京女子医科大学 統合 医科学研究所・助教	Loxoscelism (クモ刺咬症) の病態解明に有用 な新規モデル生物系確立の研究 Harvard University



平成 29 年度 国際交流助成金受領者  
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 50 万円 3 件, 150 万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
狩野 方伸 カウ マサフ 東京大学大学院医学系研究科 機能生物学専攻生理学講座 神経生理学分野	Arthur Konnerth Technical University of Munich	第 40 回日本神経科学大会 2017 年 7 月 20 日～23 日 幕張メッセ
松島 綱治 マツシマ コウジ 東京大学大学院医学系研究科分子予防医学分野	Diane Mathis Division of Immunology, Harvard Medical School	第 5 回国際サイトカイン・インターフェロン学会年会 2017 2017 年 10 月 29 日～11 月 2 日 石川県立音楽堂・ANA クラウンプラザホテル金沢 (石川県金沢市)

(海外派遣)

研究者名	所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
横溝 岳彦 ヨコミヅ タケヒコ	順天堂大学大学院医学研究科 生化学第一講座	15th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation and Related Diseases 2017 年 10 月 22 日～25 日 Puerto Vallarta, Mexico

## 塩野賞選考委員会報告ならびに受賞者決定

### 塩野賞

正賞 金メダル・賞状、副賞 1,000 万円

### 第二回塩野賞選考委員会報告

平成 29 年 3 月 17 日、理事および評議員に対象となる当該研究者のリストを提供して候補者の推薦を依頼し、4 月 30 日に推薦状の提出を締め切ったところ、20 名の理事および評議員から 13 名の推薦があった。これらの中から最終候補者の選出を行なうよう 5 月 9 日、理事長より選考委員長に審議を依頼し、5 月 24 日に塩野賞選考委員会が開催された。

選考委員会では、候補者 13 名の中から、慎重に審議が行われた結果、平成 13 年度研究助成金を受領した 櫻井 武 博士 がこの褒賞の趣旨に最も適していると判定され、第二回塩野賞受賞候補者として理事長に答申の運びとなった。

受賞候補者 櫻井 武 (筑波大学 教授)

#### 【略歴】

平成 元年 3 月	筑波大学医学専門学群卒業
平成 5 年 4 月	日本学術振興会特別研究員
平成 5 年 8 月	筑波大学基礎医学系講師
平成 11 年 12 月	筑波大学基礎医学系助教授
平成 16 年 4 月	筑波大学大学院基礎医学系助教授
平成 19 年 4 月	筑波大学大学院基礎医学系准教授
平成 19 年 11 月	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科教授 現在に至る 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 PI / 医学医療系教授 現在に至る

#### 【受賞歴】

つくば奨励賞  
第 14 回安藤百福賞大賞  
第 65 回中日文化賞  
文部科学大臣表彰・科学技術賞

細胞科学研究財団平成 13 年度研究助成金受領研究テーマ

「脳機能におけるオレキシン神経回路網の役割に関する研究」

### ◆財団設立 30 周年記念式典・第二回塩野賞贈呈式・記念講演会

日時：平成 30 年 3 月 3 日・土曜日、午後 2 時頃からの予定

場所：第一ホテル東京（東京都港区新橋 1-2-6）

以上

公益財団法人細胞科学研究財団

# 平成30年度研究助成募集要項

## 1. 研究助成の対象となるテーマ：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究。

但し、本年度の助成研究対象分野として下記のテーマを指定いたします。

- ①「脳血管－機能とその異常」
- ②「肥満症－基礎と臨床」

2. 助成金額： 300万円／1件

採択件数： 10件以内

3. 応募資格： 国内の研究機関等に所属する平成29年9月1日現在満45才未満の独立した研究者（大型研究費を受けておられる方はご遠慮下さい）

## 4. 応募方法：

(1) 所定の用紙（申請書および推薦状）をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。

(2) 必ず、所属機関の長（学長、学部長、学校長、所長、病院長、センター長等）あるいは所属部門の長（教授、部長、専攻長等）の推薦を得て下さい。

推薦者は1名に限り推薦できます。ただし、推薦者が複数の機関に所属し役職を有する場合には、それぞれの所属機関あるいは所属部門から1名に限り推薦できます。

(3) 申請書に必要事項を記入し、推薦状と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。

(4) 受け付け後、直ちに申請者へ e-mail にて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

5. 応募受付期間： 平成29年9月1日(金)より **9月29日(金)** 必着

6. 選考方法： 当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

7. 報告義務： 収支報告および研究成果の概要を提出していただきます。

8. 情報公開について： 助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。  
研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

## 9. 採否通知および助成金の交付について：

採否は決定後直ちに申請者へお知らせいたします。

助成金は平成30年4月以降に贈呈いたします。

## 10. 連絡先：

公益財団法人細胞科学研究財団

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号

TEL：06-6202-2139

FAX：06-6202-1996

URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

# 平成30年度育成助成募集要項

1. 育成助成対象者： 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする日本人の研究者で、国内外において更に高度の育成を受けようとするもののうち次の条件を満たす者とします。
  - イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者  
(各理事または評議員は1名に限り推薦できます)
  - ロ. 平成29年9月1日現在 満35才以下の研究者  
(同一の研究において他財団との助成金の重複を認めません)
  - ハ. 受入れ大学または学術研究機関が決定し、年度内(平成30年4月以降平成31年3月末までの間)にその育成の開始が予定されている者(国内育成に関しては、他大学または学術研究機関での育成を受ける場合に限りませ)ニ. 留学先および留学期日の変更は認められません。改めて申請して下さい。
2. 給付金額： 1件240万円/年  
採択件数： 4件程度
3. 給付期間： 1年間
4. 応募方法：
  - (1) 所定の用紙をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。
  - (2) 申請書に必要事項を記入し、推薦状の他必要書類と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。
  - (3) 受け付け後、直ちに申請者へ e-mail にて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。
5. 応募受付期間： 平成29年9月1日(金) より **10月31日(火)** 必着
6. 選考方法： 当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。
7. 報告義務： 収支報告および留学報告書を提出していただきます。
8. 情報公開について： 助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。  
研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。
9. 採否通知および助成金の交付について：  
採否は決定後直ちに申請者へお知らせいたします。  
助成金は平成30年4月以降に贈呈いたします。
10. 連絡先：  
公益財団法人細胞科学研究財団  
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号  
TEL：06-6202-2139  
FAX：06-6202-1996  
URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

# 平成30年度国際交流助成募集要項

1. 国際交流助成対象者： 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする研究者で、次の条件を満たす者といたします。
  - イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者  
(各理事または評議員は1名に限り推薦できます)
  - ロ. 博士号を有するか、またはそれと同等以上の研究業績を有する者
  - ハ. 年度内（平成30年4月以降平成31年3月末までの間）に開催される細胞科学に関連した国内外での国際学術会議、シンポジウムに講演者として招聘される海外在住の研究者または重要な研究発表を行う国内在住の研究者

ニ. 国際間における共同研究またはそのための協議等も上記学会への参加に準ずるものといたします。
2. 助成金額： 20～50万円／1件  
採択件数： 4件程度  
(助成額は学会への寄与の程度、開催地の遠近、開催期間の長短等を勘案して決定されます。希望助成額のおおまかな内訳をご記入下さい)
3. 応募方法：
  - (1) 所定の用紙をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。
  - (2) 申請書に必要事項を記入し、推薦状の他必要書類と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。
  - (3) 受け付け後、直ちに申請者へe-mailにて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。
4. 応募受付期間： 平成29年9月1日(金)より **10月31日(火)** 必着
5. 選考方法： 当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。
6. 報告義務： 収支報告および学会出張報告書等を提出していただきます。
7. 情報公開について： 助成対象者のお名前、ご所属等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。講演内容あるいは研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。
8. 採否通知および助成金の交付について：

採否は決定後直ちに申請者へお知らせいたします。  
助成金は平成30年4月以降に贈呈いたします。
9. 連絡先：

公益財団法人細胞科学研究財団  
〒541-0045 大阪府中央区道修町3丁目1番8号  
TEL：06-6202-2139  
FAX：06-6202-1996  
URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

平成 30 年度 研究助成金受領者  
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 300 万円 10 件, 計 3,000 万円)

テーマ 1 : 脳血管-機能とその異常

研究者	所属機関・職名	研究題目
久保田 義顕 クボタ ヨシアキ	慶應義塾大学医学部 解剖学 教室・教授	ヒト、マウス自閉症発症における脳血管 を介した Lrrc33 の機能の解明
田井中 一貴 タイケ カズキ	新潟大学脳研究所 システム 脳病態学・特任教授	3D イメージングによる脳小血管病の病態 解析
武田 朱公 タケダ シュウコウ	大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学・寄附講座 准教授	神経変性蛋白が脳血管機能に与える影響 の解明と認知症治療法への応用
林 悠 ハヤシ ユウ	筑波大学国際統合睡眠医科学 研究機構(WPI-IIIIS)・准教授	睡眠時の脳血流のダイナミックな制御と その破綻の神経基盤の解明

テーマ 2 : 肥満症-基礎と臨床

研究者	所属機関・職名	研究題目
大石 由美子 オオイシ ユミコ	東京医科歯科大学難治疾患 研究所 先端分子医学研究部 門 細胞分子医学分野・テニ ュアトラック准教授	「細胞代謝-機能連関」を標的とした抗肥 満・抗生活習慣病治療の開発
齊藤 達哉 サイトウ タツヤ	徳島大学 先端酵素学研究所 炎症生物学分野・教授	肥満に起因する自然炎症が引き起こす 組織障害の誘導機序解明
羽鳥 恵 ハトリ メグミ	慶應義塾大学医学部眼科学 教室時間生物学研究室・特任 准教授	概日時計と食事時間による霊長類の脂 肪細胞の機能制御
福中 彩子 フクナカ アヤコ	群馬大学生体調節研究所 分子糖代謝制御分野・助教	亜鉛トランスポーターZIP13 による新規 褐色化制御機構の解明
山口 良文 ヤマグチ ヨシフミ	東京大学大学院薬学系研究 科遺伝学教室・准教授	冬眠する哺乳類が有する自律的体重セ ットポイント変更機構の解析
脇 裕典 ワキ ヒロリ	東京大学大学院医学系研究科 分子糖尿病科学講座・特任准 教授	褐色脂肪細胞特異的な転写制御とエネ ルギー・糖・脂質代謝における NFIA の 役割

平成 30 年度 育成助成金受領者  
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 240 万円 4 件, 960 万円)

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
表 紀仁 オモテ ノリヒト	名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科・病院助教	特発性肺線維症における single cell RNA-sequencing による原因遺伝子の解明 Yale University School of Medicine
松田 潤 マツダ ジュン	大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学講座・ポスドクター	糸球体疾患の新規治療を目指したポドサイト内異常シグナルの解明 McGill University Health Centre (MUHC)
向山 順子 ムコウヤマ ジュンコ	神戸大学大学院医学研究科 外科学講座 食道胃腸外科学分野・医学研究員	シングルセル RNA-Seq. 解析による大腸癌の早期転移形成機構の解明 Columbia University
安本 有希 ヤスモト ユキ	東北大学大学院医学系研究科 器官解剖学分野・助教	成体脳ミクログリアにおけるミトコンドリア機能維持の神経可塑性調節における意義 Yale University School of Medicine

平成 30 年度 国際交流助成金受領者  
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 50 万円 4 件, 200 万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
<p>袖岡 幹子 ソデガキ ミコ</p> <p>理化学研究所 袖岡有機合成化学研究室</p>	<p>BERTOZZI, Carolyn R.</p> <p>Stanford University</p>	<p>日本ケミカルバイオロジー学会第 13 回 年会</p> <p>2018 年 6 月 11 日～13 日</p> <p>東京医科歯科大学鈴木章夫記念講堂</p>
<p>竹田 潔 タケダ キヨシ</p> <p>大阪大学大学院医学系研究科</p>	<p>Randy Longman</p> <p>Weil Cornell Medicine</p>	<p>マクロファージ分子細胞生物学国際シ ンポジウム</p> <p>2018 年 6 月 19 日～20 日</p> <p>大阪大学銀杏会館</p>
<p>原田 彰宏 ハラダ アキヒロ</p> <p>大阪大学医学系研究科 細胞生物学 教室</p>	<p>Pietro De Camilli</p> <p>イエール大学 (アメリカ合衆 国)</p>	<p>日本細胞生物学会 日本発生生物学会 アジア太平洋発生生物学ネットワー ク</p> <p>2018 年 6 月 5 日～8 日</p> <p>タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀 4 丁目 1- 1)</p>
<p>宮園 浩平 ミヤゾノ コウヘイ</p> <p>東京大学大学院 医学系研究科 分 子病理学分野</p>	<p>Peter ten Dijke</p> <p>Leiden University Medical Center</p>	<p>第 12 回国際 BMP カンファレンス (12th International BMP Conference)</p> <p>2018 年 10 月 24 日～28 日</p> <p>東京大学 伊藤国際学術センター 伊藤 謝恩ホール (東京都文京区本郷 7-3-1)</p>



前記のとおりご報告いたします。

平成 30 年 6 月

公益財団法人 細胞科学研究財団

理事長 塩 野 元 三